

ハラタケ科

ドングリタケ

Disciseda bovista (Klotzsch) Henn.

兵庫県ランク… A

環境省ランク… －

■ 県内分布

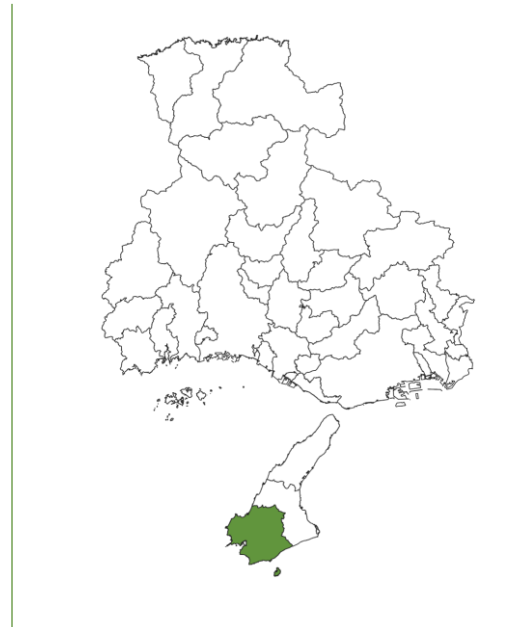
南あわじ市

■ 国内分布

茨城県、千葉県、兵庫県、他

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊	○	特殊生育環境	○	特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態	○	分布の限界	
				希少	○



■ 特記事項

海浜に生育。腐生性。子実体が途中でひっくり返る生態は特異である。



写真提供：平山吉澄

■ 保護上の留意点

海水浴客のテント設置などにより影響を受ける可能性がある。

■ 種の概要

子実体は扇球形で径10-15mm、高さ5-8mm。殻皮は2層で、外皮は砂や小屑片をまとい、褐色、膜質で上半分が脱落し、下半分が内皮に盃状形となって付着する。内皮は平滑で褐色から灰褐色の紙質、頂部に低い孔縁をつくり、小孔を開く。無性基部はない。胞子は淡黄褐色の球形で、鈍頭の刺状突起があり、径5-8μm、短柄(長さ1-2μm)をつけるものがあるが、柄は離れやすい。弾糸は隔膜はなく径2-4(6)μm、湾曲するものが多く、不規則に切れやすい。夏から秋に、砂地や荒れ地に散生する。まれ。